

(16) 精神障害の分類と診断の手引き 第4版 (DSM-IV-TR)

DSM-IV-TRとは、「アメリカ精神医学会」で定義している精神疾患の分類と診断のマニュアルと基準のことをいい、The Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders「精神障害の分類と診断の手引き」の第4版のことを指す。

そのうち、アルコール使用に係る疾病分類については以下の通り。

○ アルコール乱用

臨床的に著明な障害や苦痛を引き起こす不適応的なアルコール使用様式で、以下の少なくとも1つが、12カ月の以内に起こることによって示される。

- (1) アルコールの反復的な使用の結果、仕事、学校、または家庭の重要な役割義務を果たすことができなくなる。
- (2) 身体的危険のある状況でアルコールを反復使用する。(例) アルコール使用による能力低下中の自動車の運転、機械の操作
- (3) 反復的に引き起こされるアルコール関連の法律上の問題。
- (4) 持続的、反復的な社会的または対人関係の問題がアルコールの影響により引き起こされたり、悪化したりしているにもかかわらず、アルコール使用を継続。

○ 依存症候群

臨床的に重大な障害や苦痛を引き起こすアルコール使用の不適応的な様式で、以下の3つ（またはそれ以上）が、同じ12カ月の期間内のどこかで起こることによって示される。

- (1) 耐性、以下のいずれかによって定義されるもの：
 - (a) 酩酊または希望の効果を得るために、著しく増大した量の物質が必要
 - (b) アルコールの同じ量の持続使用により、著しく効果が劇弱
- (2) 離脱、以下のいずれかによって定義されるもの：
 - (a) アルコールに特徴的な離脱症候群がある
 - (b) 離脱症状を軽減したり回避したりするために、アルコールを摂取する。
- (3) アルコールをはじめのつもりより大量に、またはより長い期間、しばしば使用する。
- (4) アルコール使用を中止、または制限しようとする持続的な欲求または努力の不成功のあること
- (5) アルコールを得るために必要な活動（例：多くの医師を訪れる、長距離を運転する）、アルコール使用（例：たて続けに喫煙）、または、その作用からの回復などに費やされる時間の大きいこと
- (6) アルコールの使用のために重要な社会的、職業的または娯楽的活動を放棄、または減少させていること
- (7) 精神的または身体的問題が、その物質によって持続的、または反復的に起こり、悪化しているらしいことを知っているにもかかわらず、物質使用を続ける（例：コカインによって起った抑うつを認めていながら現在もコカインを使用、または、アルコール摂取による腫瘍の悪化を認めていながら飲酒を続ける）